

# 1 自己評価及び外部評価結果

(ユニット名 南ユニット)

事業所番号	0691700066		
法人名	社会福祉法人 たいよう福祉会		
事業所名	グループホーム ソーレ東根		
所在地	山形県東根市温泉町二丁目5番15号		
自己評価作成日	平成 29年 10月 10日	開設年月日	平成 27年 5月 1日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設は必要最低限にし、希望があれば外出が出来るようにしている。敷地内に畑があり、入居者・スタッフで野菜を育て収穫したものを食べる喜びや成長の感動を味わえる。食事の支度、片付け、掃除、洗濯等入居者がそれぞれ役割を持って実践している。又本人・家族の希望があれば、主治医と連携し最期の看取りまでを行っている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設して3年目、先輩がマンツーマンで若いスタッフを育てるプリセプター制度を取り入れてスキルや質の向上に取り組み、毎日笑顔で接し利用者の笑顔に繋がっています。利用者は自由に暮らす中でも食事作りやその準備・後片付け、掃除、洗濯など出来ることを行い、本を読み、キーボードを弾き、フロアでゆっくり自分らしく過ごしています。「ソーレカフェ」の常設で認知症の相談や交流で地域との輪を広げながら、ケアの統一を図るため職員の意見や悩みを聞き取り、利用者の思いや意向を大切に考えて気づきや変化があるときは皆で話し合い、より良い支援に繋がるよう取り組んでいる事業所です。

※事業所の基本情報は、公表センターページで検索し、閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/>

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 エール・フォーユー		
所在地	山形県山形市小白川町二丁目3番31号		
訪問調査日	平成 29年 11月 7日	評価結果決定日	平成 29年 11月 27日

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
55	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	62	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
56	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,37)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	63	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
57	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
58	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:35,36)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:48)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:29,30)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
61	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

山形県地域密着型サービス「1 自己評価及び外部評価(結果)」

※複数ユニットがある場合、外部評価結果は1ユニット目の評価結果票にのみ記載します

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の共有を行う為、朝礼時に理念を読み上げたり、職員の目に付くように壁に掲示している。	理念を共有しケアの統一を図るため毎日朝礼・夕礼時の個別ケースカンファレンスで振り返り、「発議書」で職員の意見や悩みを捉えながら皆で話し合い、常に考える姿勢を持って支援に繋げている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	秋祭りや文化祭等の行事を行ったり、たいよう教室などで地域の方との交流を持っている。	年4回「たいよう教室」を開催し介護の相談や施設の紹介、グループホームの内容説明などを行っている。秋祭りや文化祭を開催し、誰もが認知症の不安・悩みを相談し交流ができる「ソーレカフェ」を通して、人々の理解を得て地域に開かれた事業所として歩みを進めている。	地域との交流を法人全体で進めている中でも、グループホームとして常設の認知症カフェの活用などで更なる地域との関係作りに期待したい。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人内で介護教室を開いたり、不定期ではあるが認知症カフェを開催している。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回実施し、運営推進会議での意見はグループホームの全体会議でも話し、ホームのサービス向上につなげている。	利用者の様子や運営の状況、行事、事故等、また、時節により感染症対策や災害時の避難訓練等を報告している。「ソーレカフェ」の運営について等の意見をもらい、また会議内容を職員に周知しサービス向上を図っている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	不明な点、混乱事例などは福祉課の担当者と連絡を取りアドバイスを受けている。	運営推進会議等で利用者や事業所の現状を把握してもらい、市担当者からは会議時や窓口、電話等でカフェの運営や困難事例の相談に実情に沿った意見やアドバイスをもらっている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら、玄関に鍵をかけない工夫や、身体拘束をしないで過ごせるような工夫に取り組んでいる	夜間帯以外は玄関の自動ドアは開錠し、自由に入出りできる。玄関にはベルを取り付け来客や人の出入りがわかり、すぐに様子を見に行けるようになっている。	「拘束しないケア」について職員は研修を通して理解し、毎日利用者と関わっている。言葉遣いにも気をつけ、不穏な行動や徘徊・離脱性向がある方には環境を整えて寄り添いながら見守っている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内で研修を行ったり、外部での研修に参加し学ぶ機会を持っている。又、特定のスタッフにだけ負担がかからないようスタッフ間でコミュニケーションをとるようにしている。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会に参加したり、パンフレット等で周知している。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、わかりやすい言葉で説明をし理解納得を得ている。			
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内に意見箱(理事長ボックス)を設置し、意見・要望を確認し運営に反映させている。	面会時にお茶を出してきっかけ作りをしながら家族等と話し合い、意見を聞くようにしている。感謝の言葉が多いが利用者の不安や悩み、不満等には改善に向けて対応している。		
11		○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者を含めて全体会議を持ち意見や提案を聞く機会を持っている。			
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的に個人面談を行い、仕事に対する目標設定をしたり、仕事に対する悩みや相談をし働きやすい職場に努めている。			
13	(7)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	プリセプター制度を取り入れ、プリセプターを中心に研修計画を立て実施している。	若い職員が多く、マンツーマンで学ぶプリセプター制度を取り入れて職員の実スキルやレベルの向上に取り組んでいる。職員間の気づきや助けられたことへの感謝を込めたサンクスカードの活用、目標に対しての自己評価など話し合いを通して育成に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
14	(8)	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡協議会に参加し、他事業所と交流を持っている。	グループホーム連絡協議会や市サービス部会研修会などに参加し、常設の認知症カフェの内容などを伝え、情報交換しながら交流している。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	信頼関係を築くために、入居者に寄り添い声掛けを行い安心できるよう関係づくりに努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時に、家族からの要望不安を確認し入居者の生活に反映させ安心していただき、関係づくりに努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始時に入居者や家族に意見要望を聞き取り、出来る限り要望を取り入れた介護を行うようにしている。			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事づくりやホーム内の掃除等に、一人ひとり役割を持ってもらい一方的な介護にならないようにしている。			
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が来所時は普段の状況や近況を報告し、入居者を支えていけるよう関係づくりに努めている。			
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの関係が切れないう、今まで行きつけの利序所などへ近所の方の支援を受け外出している。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立せず過ごせるよう、軽作業や行事等は入居者を集めて参加してもらっている。時折混乱し、興奮する方もいるため、様子を見ながら参加している。			
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去する際に新しい受け入れ先への相談や家に戻る場合は、新しい支援事業所と連携し、今後の生活をフォローしている。			
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや暮らし方の希望・意向を聞き取りするよう努め日々の生活に反映させるようにしている。	アセスメントや家族等から得た情報をもとに1対1の場面で思いや意向を聞き、汲み取っている。ユニット連絡帳「なんでもノート」に記録し、朝礼時に話し合い、共有してケアに反映させている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴、生活環境の聞き取りをし入居後も同様の生活が出来るように努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方、心身状態を把握し現状に合わせた対応を行うように努めている。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	普段からミニカンファレンスを行ったり、意見やアイデアを出すようにしている。	現行プランの評価・課題の検討を行い、ケース記録や「なんでもノート」等をもとに本人・家族等の思いや意向、健康状態の変化などを把握してユニット会議等で話し合い、本人が自分らしく、安心して穏やかに暮らしていけるようプラン作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録等で情報を共有し、フロアごとに問題点等を発議書を利用し、一人ひとりの意見を取り入れ、ケアの方法の見直しや実践に活かしている。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
28		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近所のスーパーにスタッフと共に出かけ、施設での食材購入などを行い、安全で豊かな暮らしが出来るよう支援している。</p>			
29	(11)	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族が希望するかかりつけ医があれば変更せず、対応している。かかりつけ医とは連絡を密にし適切な医療を受けられるよう努めている。</p>	<p>在宅診療所に往診を依頼する方が多いが、かかりつけ医に継続して受診する方もいる。生活情報を文書で医師に伝え、下段に返事をもらい家族等・職員で共有している。</p>		
30		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>普段の生活で変化があれば、すぐに看護師に相談を行い入居者が適切な診断や看護が受けられるよう支援している。</p>			
31		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、入院治療が必要な可能性が生じた場合は、協力医療機関を含めた病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院が決まったときは、介護・看護サマリーを作成し、又入院が決まればすぐにかかりつけ医や家族とも情報交換を行っている。又退院後も不安なく生活できるよう退院前カンファレンスを行ったり、協力医療機関やかかりつけ医とも情報交換を行っている。</p>			
32	(12)	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、医療関係者等と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化した場合の対大生について説明し、意向を確認している。</p>	<p>終末期のケアについては職種毎に細分化した指針があり、家族等・医師・看護師・職員との連携で望む方には看取り支援を行っている。機能低下時は作業療法士のアドバイスを受け、状態の変化時は家族等と連絡を密に取り合っている。また職員の研修や体制作りを行い支援している。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所内での研修や会議内で研修を行っている。		
34	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	事業所全体で避難訓練の実施。災害時の炊き出し訓練を行いスタッフ間で情報共有している。	事業所全体で想定を変えながら避難訓練を実施している。9月1日防災の日は全施設で備蓄食品を使い炊き出し訓練を行い、入れ替えもしている。今月は消防団も参加して水害想定での訓練を行う事が決まっている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
35	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	相手の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない声掛けや対応を行っている。	「人対人」の関わりである事を深く心に置き、自尊心を傷つけないよう気を付けながら、その人の持つ得意な事を引き出し暮らしに彩りを添えている。個人情報には施錠して保管している。	
36		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者に何がしたいか希望を確認し本人が自己決定できるよう支援している。		
37		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員からの声掛けは行いが、入居者の過ごし方への希望があれば、入居者の希望を優先している。		
38		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者の希望にあわせた衣類の選択。みだしなみを行っている。		
39	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の得意なことを活かし、職員と共に食事作り、片づけを行っている。	献立もついた食材配送を利用している。好き嫌いや禁止食にはユニットで対応して代替食を準備、また畑の収穫物も使っている。利用者には割り振りして手伝ってもらい、楽しみな行事食は職員と一緒に作り出来る事への参加を促している。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに合わせた食事量の提供を行っている。午前・午後のお茶の時間を設けて、水分量の確保に努めている。			
41		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施。入居者の能力に合わせた口腔ケアを実施している。			
42	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンや能力を活かしたトイレ誘導や声掛けをし自立に向けた支援を行っている。	利用者の排泄パターンを見極め仕草や時間を把握しながらトイレ排泄を促している。半数は自立しており、入居時パルーンを使用していた方が、レベルアップし自立した方もいる。		
43		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度な水分補給の声掛け、提供。乳酸飲料の提供。腹部マッサージを実施している。			
44	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、事業所の都合だけで曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	ある程度の日程は決めてあるが、その日の希望にあわせ、曜日の変更を行っている。入浴時間は、その日に本人に確認し決定している。	週2回の入浴を予定し、体調など状況を見ながら安全に配慮し、自立の方でも5分ごとに声をかけ、出来ないところは手伝いながらゆっくり入ってもらっている。ひのき風呂を設えており、北ユニットにはリフトも付いており必要な方は共用している。		
45		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのその時の状況に合わせて、休息できるよう照明・温度調整を行っている。			
46		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人のケース記録に薬の処方箋を入れ、何時でも薬効がわかるようにしている。服薬の変更があった場合は申し送りノート、ケース記録に記入し情報共有を行っている。			



自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
47		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の生活歴を知り、趣味、好きなことを活かした作業や役割を提供し気分転換を図っている。			
48	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人から希望があれば、買物に出かけている。現在は施設周辺だけになっているため希望に応じて長距離の外出が出来るようにしたい。	誕生日は利用者の希望を叶える日として新たに誕生日外出を計画し、家族等の協力も得て実施している。畑に収穫に行く、夕方の散歩や本屋に行くなどの日常外出や、皆でバスで行く紅葉狩りなど楽しみにしている事もあり、季節の移り変わりを知る大切な時間となっている。		
49		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者の自己管理能力に合わせた金額で所持してもらい、家族にも確認等の協力をお願いしている。			
50		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者の希望に応じ手紙のやり取りや電話対応をしている。			
51	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には季節に合った展示物を展示したりしている。不快なく生活できるよう温度調整を行っている。	フロアには職員が必ずいる事で淋しくない場所として利用者に好まれている。季節を感じられるはり絵の装飾や、楽しかった事を忘れないよう行事時の写真をはり、会話を多く持てるよう配慮している。14時から掃除の時間を設定し、利用者がフロアやカフェをモップがけ等出来る事を行っている。		
52		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアだけでなくカフェスペースを利用し入居者一人ひとりにあった、過ごしたい場所で過ごしてもらっている。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人の使い慣れたものや好みのもを設置し居心地よく過ごせるよう工夫している。	居室には自宅で自分が使っていたものを持ち込んでもらい、安心出来る部屋作りをしている。北ユニットに「眠りスキャン」を導入し利用者の動きを確認し、安全につなげている。	
54		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内の危険につながるようなものがないか、入居者の目線で確認するようにしている。	/	/